2026 年 10 月 6 日（第 1.1 版）

消化器外科 I (旧第一外科)にて消化器手術を受けられたことのある患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報／研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和３年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第１号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正)」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

［研究課題名］　bulk RNA-seq と Pathomics の統合解析による肝細胞癌顕微鏡的静脈侵襲（vv1）の病態解明

［研究機関名・長の氏名］北海道大学病院・病院長　南須原　康行

［研究責任者名・所属］旭　火華・北海道大学病院消化器外科 I

［研究の目的］

本研究は、手術で摘出されたがん組織と診療情報から、がん細胞が血管に入り込む特徴に関わる遺伝子や組織の性質を詳しく調べることで、肝臓がん切除後における再発や転移を防ぐ新たな診断・治療法につながる情報を見つけることを目的としています。

［研究の方法］

〇対象となる患者さん

肝腫瘍の患者さんで、当院の消化器外科 I にて実施中の臨床研究「肝切除術の治療成績を評価するためのデータベース構築（北海道大学病院研究実施許可番号：指 023-0421)」に登録された方のうち、肝細胞がんと診断され 2005 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に肝切除術を受けられた手術時において年齢が 18 歳以上の方。

〇利用する検体・情報

検体：手術残余検体（一部の方のみ）※

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、診断名、病歴、薬剤歴、検査結果（血液検査、画像検査、病理組織検査)、手術情報、術後経過情報、治療情報
（最大で 2026 年 8 月 1 日までのカルテ情報が調査対象となります）

※本研究の対象となる患者さんのうち、以下のいずれかの研究に参加されており、研究目的での検体の保管に同意された方においては、この時に保管した検体も本研究に利用させていただきます（ただし、研究で必要とされる一定の基準を満たしていない場合などには検体が保管されていてもこの研究に利用しない場合もあります)。

・2005～2010 年
「手術組織提供および血液提供について（Tissue Bank 参加について)」

・2010～2014 年
「手術組織提供および血液提供について（Tissue Bank 参加について）」
・2014～2024 年
「ヒト由来組織、細胞リソースの集積を目的とした臨床情報管理システム（Tissue Bank）の構築」（医 14-005）
・2024 年 7 月以降
「診療目的で採取された血液・組織や、研究目的に提供いただく血液などの研究用保管とその利用(Tissue Bank ver.2024)」（生 024-0064/指 024-0130）

[研究実施期間]
実施許可日(検体・情報の利用開始：2026年11月頃)～2030年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合、その他研究についてご質問などがある場合には、以下にご連絡またはお問い合わせください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]
北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院消化器外科 I　　担当医師　伊藤　啓一郎
電話　011-706-5927　　FAX　011-717-7515-